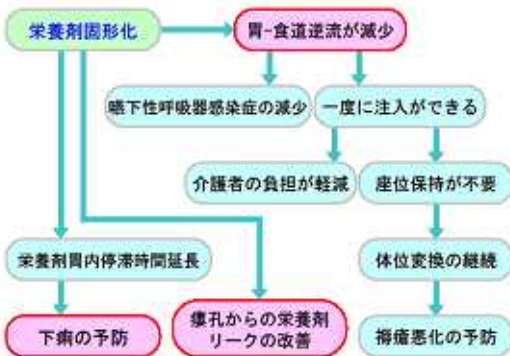


Nutrition Support Times

PEG 造設後の栄養管理 経腸栄養剤の半固形化

NST では第38回の NCM 講演会で PEG をテーマにとりあげ、消化器内科の井上先生に造設について講演していただき、経腸栄養剤の半固形化について管理栄養士の有岡が話をしました。PEG をテーマにしたのは造設後の栄養管理がもっとも大事だと言われているためです。当院でも昨年 PEG は年間 150 件消化器内科で造設され、今後も増えていくだろうと考えられています。これは慢性期疾患をもった急性期疾患患者が増えたことや、世間が栄養に関心を持つようになった昨今の医療の動向といえるのかもしれませんが、栄養を確保し患者の QOL の向上を半固形化投与することによって得られることもあると思います。最近では PEG に関しても倫理的問題なども含めて、今後病院としての方針を考えないといけない問題も出てきているようです。今回 NST も PEG チームへの参画の要請がありました。PEG チームではそんなことも前向きに検討していけたらいいでしょうね。

半固形化経腸栄養剤の特徴



PEG 関連の課題

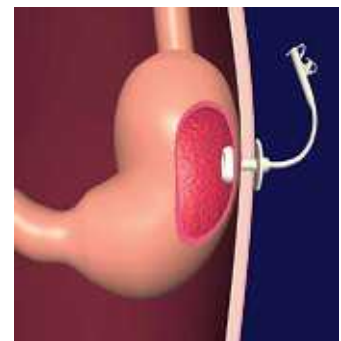
造設後 30 日以内の死亡は他の手術関連死に比べ高い
 低栄養患者に対して行うため、注意深く行わなければ重篤な結果をもたらす
 いかにも有効にまた患者や家族の負担を少なくして安全に活用するかが重要
 有効活用のためにはすべての職種が問題点を共有して解決法を見出すことが必要

PEG の合併症

機械的合併症: 誤嚥性肺炎、瘻孔周囲の漏れなど
 消化管合併症: 下痢、腹痛、悪心・嘔吐など
 代謝性合併症: 脱水、水分過剰、高血糖、電解質異常など

半固形化経腸栄養剤の利点

- 半固形化により胃食道逆流や瘻孔からの逆流が防止できる。
- 注入時間の短縮化が可能になる。
- 生理的な摂食により、生理的な消化管運動が得られる。
- 胃内の pH を低く保てるため、グラム陰性桿菌の繁殖を防ぎ、肺炎の発生頻度を低下させる。
- 食後の過血糖やガストリンの過剰分泌を防止できる。



半固形化の実際例

[材料] 栄養剤(ラコール) 200ml
 白湯 100ml
 ソフィアゲル(ゼリー) 4.5g 1.5g × 3 包

[作り方]

- ラコールを他の容器に移し、電子レンジ 2 分加熱。(約 80)
 - に熱い湯を 100ml 入れる。(全体で 60 ぐらいを保つように)
 - にソフィア 4.5g 入れ、よくかき混ぜる。
- 注入容器に入れ冷ます



NCM 講演会予定

月日	内容	担当
11/27	肝臓の栄養について	木本先生
1/15	腎臓と栄養について	田路先生
2/26	感染と栄養について	若草第 1 病院 山中先生

NST カンファレンス・回診

毎週水曜日 pm1:00 ~
 8 北(861) NST カンファレンスルーム

♪ ~ NST 勉強会 ~ ♪

NST では NCM 講演会以外にも勉強会を開いております。ここでは今回の話題の経腸栄養剤の半固形化の実習や、嚥下の間接訓練の実習をおこなったりもしています。是非参加して手技を取得していただきたいと思っております。